

つなげよう つながろう ふたばのわ

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを
深めるための情報紙です。

自治会・団体の活動紹介や町民同士の
新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。

「ふたばのわ」を通して町民のみなさんの
つながりや笑い合う場を増やしていけたら。



- ▶～はばたけみらいの双葉人～平成26年双葉町成人式(P2・3) ▶ふたばのわスマイルフォト(P4)
- ▶担当課長に聞きました!～復興公営住宅について～(P5) ▶町からのお知らせ(P5)
- ▶世代別会議～これからの双葉町をみんなで考える～(P6・7)
- ▶放射線モニタリング情報・編集後記(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ URL <http://facebook.com/fukushima.futaba>

平成26年 双葉町成人式

～はばたけ 미래の双葉人～

72名が成人を迎える

平成26年1月4日(土)に、いわき市内ホテルにて、平成26年双葉町成人式が行われました。

72名が今年成人を迎え、内59名が式典に出席しました。式典、祝う会、同級会と長い1日となりましたが、久しぶりに集まったみなさんの思い出話は尽きない様子でした。

震災後、まもなく3年が経ちますが、町はまだまだ困難な状況が続いています。

そんな中でも、少しずつ、少しずつではありますが、復興に向け歩みを進めています。

その担い手である双葉町の次の世代も、

しっかりとその一歩を踏み出したと感じさせてくれる式典となりました。

双葉町への想い

「家族、友人や地域の人々とも離れ離れになったが、生まれ育った双葉町とかけていただいた恩情をいつまでも忘れず、できることからお返ししていきたい。」

新成人を代表して玉根俊介さんと白土裕真さんはこのように誓いの言葉を述べました。

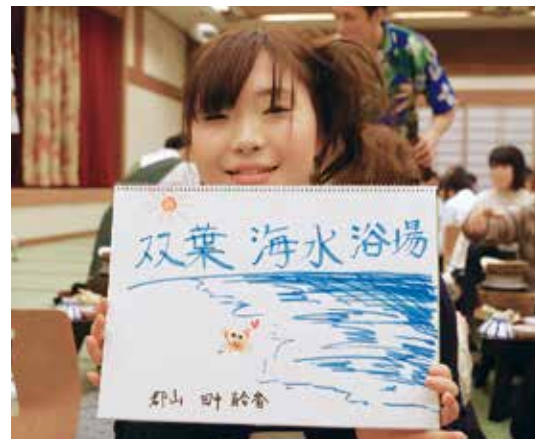
未だ帰ることのできない故郷ではありませんが、そこで出会い自分を育ててくれたたくさんの方たちへの思いを胸に、大人としての決意を新たにしていました。



成人式で聞きました!

後世に残したい双葉町!

同級会にて、後世に残したい双葉町をスケッチブックに書いてもらいました。双葉町と共に過ごした仲間・思い出。そんなエピソードも一緒に話してもらえました。違った形にはなるかもしれませんが、少しでも多くの双葉町を後世に伝えてもらいたいと思っています。ぜひみなさまの「後世に残したい双葉町」もお寄せいただきたいと思います。応募方法などは巻末に記載していますので応募よろしくお願いいたします。



若者の声を届けたい

「双葉の若者の声を町に届けたい。このまま時が過ぎてしまうのはよくないと思っている」

若手世代のグループを作って町に声を届けたい。そう話してくれたのは、成人式実行委員長をつとめた、鎌田尚幸さん。双葉町の未来を、ぜひみなさんの手で作ってほしい。そう願っています。



To Future Generations...

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



11月19日
にこにこサロン(いわき市小名浜)



11月21日
双葉町住民交流会(郡山市)



11月25日
にこにこサロン(加須市)



11月28日
生活学級防犯予防講座(加須市)



12月3日
にこにこサロン(いわき市南台)



12月5日
にこにこサロン(本宮市)



12月9日
会津仮設住宅クラフト教室
(会津若松市)



12月10日
まごころ双葉会婦人部
韓国料理教室(いわき市)



12月18日
生活学級郷土文化講座
(加須市)



12月20日
はなみずき婦人学級
生け花教室(加須市)



12月23日
北幹線第二仮設住宅
もちつき大会(福島市)



復興推進課 駒田課長

Q & A 復興公営住宅

担当課長に聞きました！



ふたさほ 小林

Q1. 復興公営住宅ってどんなもの？

A1. 原子力災害により、長期避難をしている方々を対象として、福島県が整備する公営住宅です。

Q2. 新聞などで復興公営住宅の抽選や入居が始まったというニュースがあるけど、双葉町民は入れないの？

A2. 新聞などで報道されている抽選や入居が開始された復興公営住宅は、津波被災者を対象にしたものになります。津波被災者を対象とした復興公営住宅は、いわき市や南相馬市などが、同市民の被災者に提供するために建設している市営住宅なので、双葉町民は対象になりません。

Q3. では双葉町民が入居できる復興公営住宅は、いつ頃から入居出来る予定ですか？

A3. 平成 27 年度（2015 年度）中には、入居開始出来るように国・県・受入自治体と話し合いを進めています。入居方法につきましては決まり次第、お知らせしていきます。

Q4. 双葉町は、どの地域に建設予定ですか？

A4. いわき市、郡山市、南相馬市、白河市に建設を要望しています。

Q5. 部屋の間取りは？

A5. 福島県との話し合いで決めていきます。現在福島県が、郡山市麓山地区、いわき市小名浜地区にモデルルームを整備しています。復興公営住宅のモデルルームの間取りは 3LDK と 2LDK になっており、完成は平成 25 年度中です。

Q6. 復興公営住宅の周りには何が出来るの？

A6. 集会所などを設置し、コミュニティの拠点となるように、県に要望していきます。特にいわき市南部には、役場があり学校も再開予定であることから、「双葉町外拠点」の中心にしたいと考えています。いわき市南部に整備をする復興公営住宅には、診療所・高齢者福祉施設や商店などを併設するよう、県に要望するとともに、同時にいわき市等と調整していきます。

町からのお知らせ

重要!

福島県借上げ住宅の入居期間が平成27年3月31日まで延長されました

福島県借上げ住宅にお住まいの方で4月以降も入居を継続する場合には**再契約**が必要です。貸主または貸主代理からの**再契約**に係わる事務手続きの依頼がありますので、契約書への記入捺印をお願いいたします。

また、借上げ住宅を退去・解約する場合は「仮設住宅等終了届」の提出が必要です。退去前に双葉町住民生活課借上げ住宅担当へ提出してください。

お問い合わせ先：住民生活課 ☎0246-84-5204



環境

双葉町内にイノシシ捕獲用の箱ワナを設置しました

環境省では、避難が続く帰還困難区域で増えるイノシシ等の被害に対応するため、11月末からイノシシ捕獲用の箱ワナを双葉町内6カ所設置しました。平成25年12月10日現在、8頭が捕獲され、引き続き箱ワナを設置し、平成26年2月末まで捕獲を行います。写真は寺松地内で捕獲されたイノシシです。なお、避難指示解除準備区域での事業実施も国へ要望を行っています。



お問い合わせ先：産業建設課 ☎0246-84-5209

説明会

大学通信教育合同入学説明会が開催されます

参加申し込み不要・入場無料・入退場自由

日時：平成26年2月1日(土) 12:00~17:00

場所：仙台市情報・産業プラザ(アエル)5階

内容：相談コーナー開設

「大学通信教育ガイド」に配布

主催・連絡先：

公益財団法人 私立大学通信教育協会

TEL ▶ 03-3818-3870

URL ▶ <http://www.uce.or.jp/>



世代別会議

これからの双葉町をみんなで作る

みなさんの声を聴かせたいわー！

平成25年11月15日から12月8日の期間で、福島県内外の全9カ所で世代別会議が行われました。約100名の町民の方が参加し、たくさんのお意見をいただきました。

会議は、各テーブルについての進行役の方が、みなさんの意見を模造紙にまとめ、最後にグループで発表してもらう形で行われました。

また、町長・副町長も参加し、町民のみなさんと直接意見交換をさせていただく場となりました。

きずなを維持する大切

この世代別会議は、町民の意見を町の施策に活かすことを目的に開催されました。

賠償、中間貯蔵施設、生活の安定など、まだまだたくさん課題が山積しています。町から国・県に要望や提案を行ったり、町の現状をみなさんにお伝えしたり、町民同士の交流機会を増やしより安らぎのある生活にするためにも、「コミュニティの維持・再生は重要」になります。

話の議題を明確に

「町民の交流機会の確保」「町民同士が連絡を取り合うことができる仕組みの構築」「情報提供の円滑化・充美化」など、きず

なや交流に議題をしぼって意見をいただきました。

「会議というから固い会なのか」と思ったという声も聞かれましたが、時間が進むにつれ発言が活発になり、和やかな雰囲気のと会となりました。この場で出た意見は、復興推進委員会に報告され、今後、町の施策に活かされていきます。

地域・世代を同じく、幅広い

地域ごとに特徴的なものもありましたが、共通していた意見が、大きく2つありました。一つは「自治会などの町民組織について」、もう一つは「イベント・交流機会について」です。

「自治会組織を行政区のような公認組織にしてほしい」、「町への要望に対して返答をもらえるような仕組みをつくったかどうか」、「町と役場を仲介する立場を作ったかどうか」、「いつでもだれでも気軽に集まれる場所をつくりたい」、「自治会などでイベントを実施しているが告知がうまくいかない」、「イベントに参加したいが交通手段がない」などといった意見をいただきました。

また、若い世代からは伝統・文化の継承や趣味での集まり、婚活イベントなど、もっと気軽な集まりをしたいといった面白いアイデアがでていました。



- 11月15日 [加須市] パストラル加須
- 11月16日 [つくば市] つくば研究支援センター
- 11月17日 [東京都] 全国町村会館
- 11月22日 [いわき市] 勿来市民会館
- 11月23日 [白河市] ホテルザンルート白河
- 11月24日 [郡山市] JA 郡山市会館
- 12月6日 [福島市] 福島県教育会館
- 12月7日 [南相馬市] 南相馬市市民情報交流センター
- 12月8日 [いわき市] LATOV (ラトフ)

郡山市

復幸「普通の生活」を取り戻す

- ・広域の人が集まれる集会場の設置
- ・分散していてもつながっている仕組みづくり

オリンピックまでにバラ色

- ・双葉町の広場・集まるところがほしい
- ・町民の会う機会と情報網をつくる

福島市

コミュニティと絆との関係

- ・各自治会間の交流機会をつくる
- ・会合に行きたくても交通手段がない

これからのために？

- ・自治会長に報酬が必要
- ・役場の人も交えて、集会所でみんな話す

若い世代が未来の双葉をつくる

- ・復興会議なども、もっと若い人が集まりやすいようにしてほしい
- ・住民との対話が一番大切である

町民とのつながりがほしい

- ・双葉町全体の集まりがない
- ・町と町民をつなぐ役割が必要

南相馬市

未来への一歩

- ・自治会がないので、どこに双葉の人がいるかわからない
- ・集まる場所もない

南相馬・相馬にも双葉町民はいる！

- ・双葉で築いてきたつながりがなくなってしまった
- ・双葉町の人が集える一定の場所が必要

避難場所での双葉町民の絆を強くしたい

- ・リーダーが会の意見を取りまとめ町へ声を届ける
- ・南相馬にどういいう人がいるか情報が少ない

白河市

垣根を超える仲間づくり

- ・前の行政区のしぼりじゃない、新しい地区会
- ・新しい地区でまとまり、情報が集まるようにする

前進するためのステップ

- ・なんでもひとつの窓口で相談できる場所がほしい
- ・趣味を充実させることで、地域にも溶け込むきっかけになる

花のあふれるコミュニティづくり

- ・広報より連絡員の声がいい
- ・白河に復興公営住宅をつくってほしい

加須市

検討から実行へ

- ・誰でも使える集会所がほしい
- ・定期的にイベント・交流会を実施していく

ほっとLINE! Fクラブ

- ・町・社協・支援団体や町民をつなぐ、交流施設が必要
- ・同じテーマで話し、地域をこえたテーマ型コミュニティをつくる

いわき市(平)

次世代の双葉町づくり

- ・趣味を限定して、ジャンル分けした集まり
- ・若い人向け交流イベント実施

夢住んで拓いて

- ・いわきまごころ双葉会を設立し、2ヶ月に1回総会を実施
- ・地区ごとに役員が個別訪問をしている

はっきりしてよ!

- ・集まれる場所があれば交流できる
- ・集まる時には足が必要

東京都

んだべ〜

- ・集まれる場所をつくる
- ・長期間会わないと離れてしまう

今をよりよく生きるために

- ・伝統文化を伝える、残す
- ・年に数回季節ごとのイベント実施

つくば市

心は一つ

- ・双葉を忘れない、共有できる施設の設置
- ・ブロックごとのコミュニティをまとめる

いわき市(勿来)

「今話したい事」でしょ!!

- ・町の中で話をまとめてくれる、仲介役がほしい
- ・自治会と町の連携がもっと必要

小さい集まりからやってくんねべか!

- ・どこに誰がすんでいるかわからない
- ・小さな集まりからはじめていく

放射線モニタリング情報

応急仮設住宅等の環境放射線量率測定結果

平成25年12月27日 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

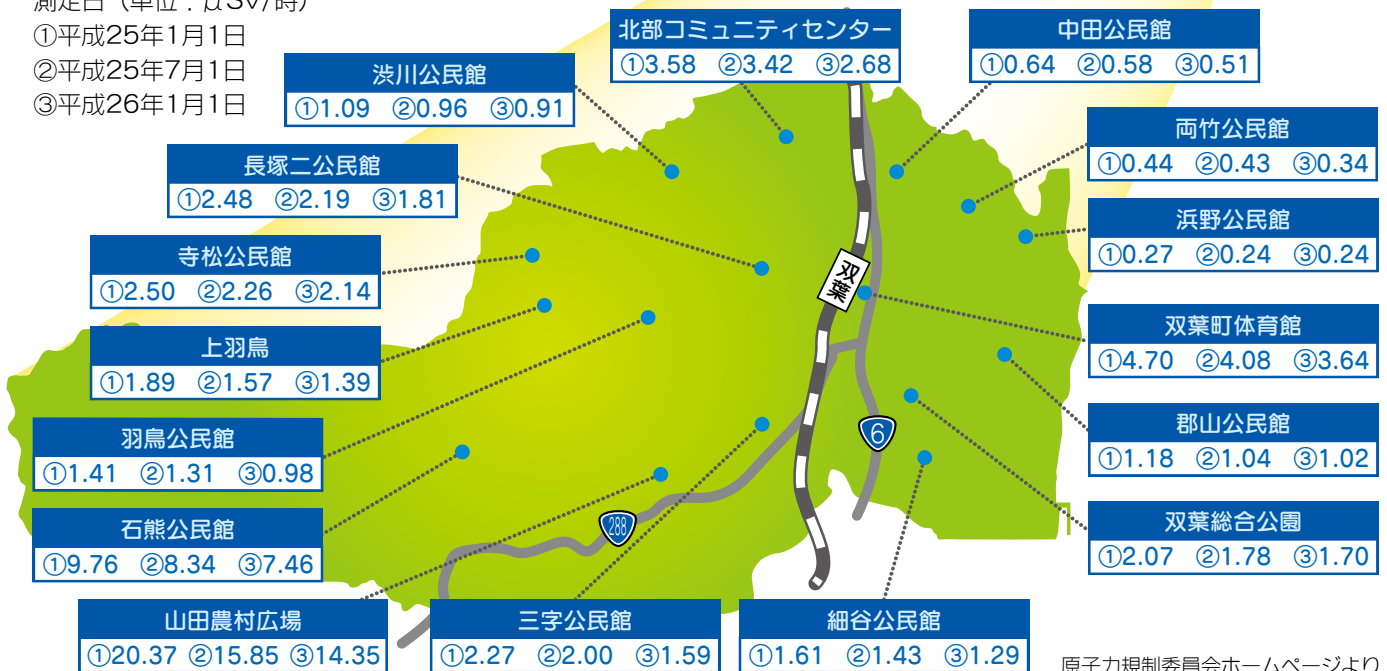
- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅... 0.118~0.369
- ②福島市 さくら応急仮設住宅... 0.143~0.182
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅... 0.168~0.403
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅... 0.136~0.357
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅... 0.210~0.365
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅... 0.055~0.074
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅... 0.059~0.064
- ⑧会津若松市 城前応急仮設住宅... 0.076~0.100
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅... 0.118~0.191
- ⑩つくば市 つくば連絡所... 0.143~0.171



双葉町内の放射線モニタリング情報

測定日 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

- ①平成25年1月1日
- ②平成25年7月1日
- ③平成26年1月1日



原子力規制委員会ホームページより

編集後記

新しい年が始まりました。ふたばのわも新年から8ページとなり、より多くの情報を町民のみなさんにお届けできるようになりました。

成人式にて、若い世代の双葉町に対する想いをうかがう事ができました。彼らの想いをつなげたい。そう感じさせてくれる素敵な式典でした。みなさんの手

で、双葉町の未来をつくってもらえたら。そのためにサポート出来る事があれば、一緒に活動できたらいいなと思っています

2013年の漢字に「輪」が選ばれましたが、2014年を迎えてもつながりの輪を大切に、日本中の人々が復興に向けて力を合わせてほしいと願っています。



「ふたばのわ」に参加しませんか？

「ふたばのわ」では「後世に残したい双葉町」をテーマに、みなさんから写真を募集しています。お名前・出身行政区を記載の上、以下の方法でご送付お願いします。

【郵送の場合】 〒974-8212 福島県いわき市東田町2-19-4
「双葉町いわき事務所内ふたさほ」宛

【メールの場合】 info@futabamachi-s.com

(写真例)



ご応募
お待ちしております
！

